

令和6年度

図書館評価 (実績)

和歌山県立図書館

図書館評価 実施要項

1 図書館評価の趣旨

和歌山県立図書館は、運営の改善と図書館サービスの向上等を図るために、図書館法第7条の3に基づき、図書館評価を行う。

【参考 図書館法抜粋】

(運営の状況に関する評価等)
第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るための必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 図書館評価の構成と方法

(1) 評価の項目及び指標等

評価項目	指標項目数
1 読書活動の推進に関して	7
2 市町村立図書館等への支援に関して	2
3 サービスの充実に関して（情報の提供等含む）	8
4 資料の収集及び保存に関して	2
5 文化情報センターに関して	6
計	25

<参考>

地域等への貢献状況の紹介	11
--------------	----

(2) 指標項目の評価等

① 数値目標の設定等

前年度まで（過去3年間程度）の実績、本年度の施策及び取組等を勘案して、各指標毎に、当該年度の数値目標の設定を行うとともに、改善方策を含めた取組を定める。

② 評価方法

評価は、当該年度の実績値と目標値をもとに、下記に示す「指標項目の評価基準」で客観的に行う。

③ 指標項目の評価基準

評価	達成状況
A（達成）	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方を超えている。
B（ほぼ達成）	当該年度実績が前年度実績、又は、当該年度目標のどちらかを超えている。
C（達成できていない）	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方に達していない。

(3) 評価項目の評価等

① 評価方法

評価項目内の指標項目の評価をもとに、下記に示す「評価項目の評価基準」で客観的に行う。

② 評価項目の評価基準

評価	達成状況
達成	A及びBの割合が100%(Aの割合が2/3以上)
ほぼ達成	A及びBの割合が80%～100%未満(Aの割合が1/3以上)
概ね達成	A及びBの割合が60%～80%未満
達成できていない	A及びBの割合が60%未満

3 図書館評価の公表等

公表については、下記の手順で、ホームページ等で行う。

- (1) 当該年度の目標値等を設定した時点で第1回目（目標）の公表を行う。
- (2) 次年度当初に、当該年度実績値をもとに評価・検証等を行い、改善策及び次年度の取組等を検討し、第2回目（結果）の公表を行う。

令和6年度 図書館評価シート(実績)

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

評価項目	指 標 項 目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
1 読書活動の推進に関して										
①	お話し会参加人数	317	715	821	820	99.9%	1,073	130.7%	130.9%	A
	(本館)	105	420	503	500	99.4%	704	140.0%	140.8%	
	(紀南)	212	295	318	320	100.6%	369	116.0%	115.3%	
②	図書館ウォッチング 参加人数	191	239	210	220	104.8%	208	99.0%	94.5%	C
③	手づくり紙芝居 コンクール応募点数	29	12	20	—	—	—	—	—	—
④	ビブリオバトルの 参加人数	1,019	1,271	1,257	1,250	99.4%	1,388	110.4%	111.0%	A
⑤	POPコンクールの 参加人数	541	929	603	650	107.8%	659	109.3%	101.4%	A
⑥	学校への支援 (資料貸出冊数)	18,185	16,788	15,276	16,500	108.0%	15,870	103.9%	96.2%	B
	(本館)	14,133	13,101	11,824	13,000	109.9%	12,404	104.9%	95.4%	
	(紀南)	4,052	3,687	3,452	3,500	101.4%	3,466	100.4%	99.0%	
⑦	学校への支援 (出張講座回数)	13	23	16	17	106.3%	23	143.8%	135.3%	A
	(本館)	8	19	11	12	109.1%	17	154.5%	141.7%	
	(紀南)	5	4	5	5	100.0%	6	120.0%	120.0%	
※ ④ビブリオバトルの参加人数、⑤POPコンクールの参加人数は「中高生読書まつり」として実施										
【現状】										
・【本館】新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、お話し会への参加制限を解除したため、参加人数も増加している。 [①]										
・手づくり紙芝居コンクールは、令和5年度に開催した第30回のコンクールをもって終了した。[③]										
・ビブリオバトルの参加意向調査では全市町村が参加の意向を示しているが、地域大会は実施できず、校内の大会で当該地域の代表を決定した自治体が若干ある。[④]										
【目標達成のための改善点及び取組等】										
・【本館】SNSによるお話し会のプログラムの発信等、広報を積極的に行う。[①]										
・市町村教育委員会への広報を(県)生涯学習課を通じて行い、積極的な参加を促す。[④]										
・(県)生涯学習課や(県)総務課の講師派遣事業を利用し、学校との打ち合わせを綿密に行って、支援内容を充実させる。[⑦]										
【令和6年度:主な指標項目の分析】										
・②図書館ウォッチング参加人数はR6実績値が前年とほぼ同程度で、目標値を上回ることではできなかった。その要因としては、近年、近隣からの参加者に限定される傾向も考えられる。今後、企画の周知・広報の充実とともに、受付方法・時期等の工夫をはじめ、魅力ある企画内容を検討していく必要がある。										
・④ビブリオバトルについては、その意義等の理解が進み、地域や学校単位の取組が充実し、R6実績値は前年度実績値、当該年度目標値のいずれも大きく上回るとともに、本県代表の中学生が全国大会において優秀な評価を得るなど、質の向上もみられる。今後は、各地域や学校での取組の支援を充実するとともに、県大会の運営の工夫が必要である。										
・⑥学校への支援(資料貸出冊数)について、団体一括貸出・協力貸出制度を利用する学校数は増加しておらず、R6実績値は前年度実績値を上回ったものの、当該年度目標値には届かなかった。様々な機会を通じて、貸出制度の利用を働きかけるとともに、貸出資料の情報や活用方法等についての広報に努めていかなければならない。なお、学校への支援を資料貸出の冊数で評価することの妥当性については要検討である。										
【令和6年度:当該評価項目の全体評価】 《 ほぼ達成 》										
○達成状況等 【A(66.7 %) B(16.7 %) C(16.7 %)】										
読書活動の推進において、こどもの読書環境充実への支援、特に幼児期の読み聞かせ等の読書体験を豊かにする取組・支援が引き続き重要である。中高生の取組として、ビブリオバトル、POPコンクールをはじめとする学校との連携や学校への支援に工夫の余地があると思料するので、今後も注力する必要がある。										

令和6年度 図書館評価シート(実績)

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

[illegible]

令和6年度 図書館評価シート(実績)

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
3 サービスの充実に関して(情報の提供等含む)										
① 入館者数		342,843	319,469	321,787	323,700	100.6%	328,397	102.1%	101.5%	A
	(本館)	262,400	250,215	251,686	252,700	100.4%	252,861	100.5%	100.1%	
	(紀南)	80,443	69,254	70,101	71,000	101.3%	75,536	107.8%	106.4%	
② 貸出冊数		441,449	402,612	392,991	397,000	101.0%	380,500	96.8%	95.8%	C
	(本館)	326,684	288,227	276,852	277,000	100.1%	269,138	97.2%	97.2%	
	(紀南)	114,765	114,385	116,139	120,000	103.3%	111,362	95.9%	92.8%	
③ 貸出人数		134,697	124,496	123,452	123,600	100.1%	122,712	99.4%	99.3%	C
	(本館)	103,546	94,293	91,543	91,600	100.1%	91,582	100.0%	100.0%	
	(紀南)	31,151	30,203	31,909	32,000	100.3%	31,130	97.6%	97.3%	
④ レファレンス件数		26,345 (15,287)	26,045 (14,391)	22,893 (13,441)	23,700 (13,500)	103.5%	22,772 (12,581)	99.5%	96.1%	C
	(本館)	20,021 (12,568)	20,325 (11,968)	17,926 (10,999)	18,000 (11,000)	100.4%	19,034 (10,556)	106.2%	105.7%	
	(紀南)	6,324 (2,719)	5,720 (2,423)	4,967 (2,442)	5,700 (2,500)	114.8%	3,738 (2,025)	75.3%	65.6%	
⑤ 南葵音楽文庫 利用者数		404	434	515	350	68.0%	452	87.8%	129.1%	B
	(南葵音楽文庫閲覧室入室者数)	68	75	186	150	80.6%	196	105.4%	130.7%	
	(アカデミー参加人数)	336	359	329	200	60.8%	256	77.8%	128.0%	
⑥ ホームページ アクセス数		212,735	205,641	185,556	190,000	102.4%	153,607	82.8%	80.8%	C
⑦ 展示 (情報発信に関するもの)		76	83	78	65	83.3%	71	91.0%	109.2%	B
	(本館)	29	32	23	25	108.7%	27	117.4%	108.0%	
	(紀南)	47	51	55	40	72.7%	44	80.0%	110.0%	
⑧ 新聞報道された件数		63	83	63	65	103.2%	82	130.2%	126.2%	A
※ ④レファレンス件数の()は書庫出納件数(内数)										
【現状】 ・入館者数は微増傾向にあるが、貸出冊数や貸出人数については減少している。[①、②、③] ・南葵音楽文庫閲覧室への入室制限の解除やレクチャーの実施等により利用者数は増加し、コロナ禍前の状況に戻りつつある。[⑤] ・企画展示の回数は減少している。[⑦]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【紀南】利用者に興味をもってもらえるよう、展示内容の見直しを図る。[①、⑦] ・SNSを活用した情報発信を行い、ホームページへのアクセスにつなげる。[⑥] ・予算の減少により南葵音楽文庫のレクチャー回数は半減するが、Web配信の導入により参加者の増加につなげる。[⑤]										
【令和6年度:主な指標項目の分析】 ・①入館者の総数では、R6実績値が前年度実績値、当該年度目標値のいずれも上回った。 ・一方で、②貸出冊数、③貸出人数及び④レファレンス件数のいずれも、R6実績値は前年度実績値、当該年度目標値ともに下回っており、入館者の図書館利用に結びついていない。資料の充実、配架やレファレンスの工夫・改善が必要であるが、そのベースとして、既存の利用者の満足度や新たなニーズについての定点調査を行い、課題の洗い出しをする必要がある。 ・⑦展示に関しては、本館での企画展示や児童室の季節展示等が増え、R6実績値は前年度実績値、当該年度目標値のいずれも上回った。一方、紀南図書館の展示は低調で、今後、学校図書館や他機関と連携した、魅力ある展示に取り組むことが必要である。										
【令和6年度:当該評価項目の全体評価】 《 達成できていない 》 ○達成状況等 【A(25.0 %) B(25.0 %) C(50.0 %)】 図書館に対するニーズが多様化しているなか、既存の利用者の満足度を高めることと、新規顧客の開拓を両立させる必要がある。前例踏襲を脱するためにも、アンケート調査等を通じてニーズや満足度を適切に把握し、サービス・運営に反映させていく必要がある。										

令和6年度 図書館評価シート(実績)

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度目標達成率(%) (C/B)	評価
		R3年度実績値	R4年度実績値	R5年度実績値 (A)	R6年度目標値 (B)	R5年度実績値に対する比率(%) (B/A)	R6年度実績値 (C)	R5年度実績値に対する比率(%) (C/A)		
4 資料の収集及び保存に関して										
①	蔵書冊数	1,076,414	1,093,883	1,108,006	1,123,106	101.4%	1,121,931	101.3%	99.9%	B
	(本館)	837,113	849,553	861,445	872,645	101.3%	872,513	101.3%	100.0%	
	(紀南)	239,301	244,330	246,561	250,461	101.6%	249,418	101.2%	99.6%	
②	特色ある資料の状況	255,619	260,879	265,311	269,864	101.7%	270,006	101.8%	100.1%	A
	・郷土資料冊数	96,701	98,173	99,683	100,906	101.2%	101,066	101.4%	100.2%	
	(本館)	75,418	76,479	77,586	78,506	101.2%	78,629	101.3%	100.2%	
	(紀南)	21,283	21,694	22,097	22,400	101.4%	22,437	101.5%	100.2%	
	・児童書冊数	158,918	162,706	165,628	168,958	102.0%	168,940	102.0%	100.0%	
	(本館)	99,268	101,707	103,524	105,854	102.3%	105,658	102.1%	99.8%	
	(紀南)	59,650	60,999	62,104	63,104	101.6%	63,282	101.9%	100.3%	
【現状】 ・蔵書冊数は全国21位(令和6年3月31日現在(公益社団法人日本図書館協会『日本の図書館』調査より))である。[①] ・児童書の蔵書冊数は全国9位(令和6年3月31日現在(公益社団法人日本図書館協会『日本の図書館』調査より))である。[②] ・【本館】郷土資料や児童書の収集に努め、郷土資料の冊数は目標値を上回っている。[②]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【本館】基本資料は県民の課題解決に役立つ資料を収集し、郷土資料は網羅的に収集する。[①、②] ・【本館】「人権」「仕事」「防災」「がん」「認知症」「子育て」関連資料は重点的に収集し、時事問題に関する資料収集にも配慮する。[①] ・【本館】大型絵本や良質な絵本、調べ学習の資料やシリーズ本、児童書やヤングアダルト(中高生向け)資料を収集する。[②] ・【本館】書庫の収容能力を考慮し、選書を慎重に行う。[①] ・【紀南】基本資料や郷土資料、児童資料について、広く県民に役立つ資料を収集する。[①、②]										
【令和6年度:主な指標項目の分析】 ・①蔵書冊数全体については、概ね予定どおりに、収集、保存ができています。紀南図書館では、書庫の容量から破損本・複本等の除籍を進めたことが反映されている。 ・②特色ある資料の状況については、R6実績値が前年度実績値、当該年度目標値のいずれをもほぼ上回った。郷土資料については、その出版点数が減少傾向にあるが、今後も網羅的に収集することとしており、特に紀南地方にとって重視すべき資料にも十分な配慮をする。また、読書活動推進の観点から、児童室の資料の更なる充実も重要な課題と捉えている。										
【令和6年度:当該評価項目の全体評価】 《 達成 》 ○達成状況等 【A(50.0 %) B(50.0 %) C(0 %)】 資料の収集及び保存にあつては、予算も勘案しながら、計画的に良書の収集に努める必要がある。県立図書館として所蔵しておくべき資料はもとより、利用者に加え、学校や市町村のニーズにも対応しうよう、蔵書の充実を図っていくとともに、書庫の整備も課題と捉えておく必要がある。なお、蔵書冊数は図書館サービスの重要な要素であるが、今後の予算の制約や、出版数の増減、蔵書価格の上昇を見据えながら、県立図書館として揃えるべき蔵書の質の検証が必要となるので、新たな指標を考案していくべきである。また、資料の適切な保存環境維持のため、書庫の整備や廃棄の進捗に関する新たな指標も必要となる。										

令和6年度 図書館評価シート(実績)

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の目標		R6年度の状況		R6年度 目標達成率 (%)	評価
		R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 目標値 (B)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (B/A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)		
5 文化情報センターに関して										
①	入館者数	54,675 (10,244)	56,619 (14,393)	55,795 (11,229)	59,000 (15,000)	105.7%	59,347 (13,844)	106.4%	100.6%	A
②	視聴覚資料の 利用件数	3,929	4,712	4,117	5,140	124.8%	4,876	118.4%	94.9%	B
	(DVD・ビデオ)	2,586 (2,568)	2,983 (2,959)	2,552 (2,549)	3,250 (3,200)	127.4%	3,025 (2,988)	118.5%	93.1%	
	(CD)	1,343 (774)	1,729 (802)	1,565 (597)	1,890 (900)	120.8%	1,851 (710)	118.3%	97.9%	
③	体験教室等への 参加人数	2,758	5,774	6,594	6,600	100.1%	6,720	101.9%	101.8%	A
④	県民カレッジの 登録講座数	900	955	949	980	103.3%	825	86.9%	84.2%	C
⑤	県民カレッジの 登録者数	6,800	6,935	7,090	7,500	105.8%	7,223	101.9%	96.3%	B
⑥	施設の利用件数	177	246	181	260	143.6%	202	111.6%	77.7%	B
	(メディア・アート・ホール)	115	150	108	160	148.1%	132	122.2%	82.5%	
	(講義・研修室)	62	96	73	100	137.0%	70	95.9%	70.0%	
※ ①入館者数の()はメディア・アート・ホール及び講義・研修室の利用者数(内数) ②視聴覚資料の利用件数の()は利用人数										
【現状】 ・メディア・アート・ホールのLED化工事により1月から3月にかけてホールが使用できなかったため、R5年度の入館者数及び施設の利用件数は減少した。[①、⑥] ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、体験教室等への参加者や自習スペースの利用者は増えたが、視聴覚資料の利用件数は減少している。[②、③] ・きのくに県民カレッジにおいては、登録者数が3年連続で増加したものの、登録講座数は若干減少している。[④、⑤]										
【目標達成のための改善点及び取組等】 ・メディア・アート・ホールについては、昨年度のLED化工事に続き、今年度はプロジェクターの更新が予定されているため、舞台演出の幅が広がる旨を積極的に広報し、入館者数の増加を図る。[①、⑥] ・視聴覚資料の利用件数の増加を図るため、貸出上限数の検討を行うとともに、利用者のニーズの把握に努め、所蔵の充実を図る。[②] ・遊ing等体験教室の内容の充実を図るとともに、広報をより積極的に行い、参加人数の増加に努める。[③] ・きのくに県民カレッジについては、引き続き、各市町村の新規講座の登録数及び登録者数の増加を図り、広報等啓発活動に努める。[④、⑤]										
【令和6年度:主な指標項目の分析】 ・①入館者数については、R6実績値が前年度実績値、当該年度目標値のいずれも上回った。内訳では、主催事業やきのくにふれあい教室への参加者、及びAVラウンジの利用者、外部が主催したイベント等への参加者が増加した。自習スペース利用者は、収容人数に限界があるため、前年度並みに留まるのもやむを得ない。今後、新規利用者の獲得をめざし、みんなでシネマやデイトタイムコンサート等が単発的なイベントに終始しないよう、映画の原作本や演奏曲のCDをリスト化し配布するなど、図書館や本センターと関連付けた取組の工夫と広報が必要である。 ・②視聴覚資料の利用件数に関し、AVラウンジは午前中のシニア層や長期休業中のこども等の利用が目立ち、前年度の116%に増えている。CDはクラシックだけでなく、落語や演歌、J-POP等の貸出が増え、前年度比120%の状況である。今後、幅広いジャンルの視聴覚資料を取り揃えるよう努めるとともに、新入荷や新作のコーナーの設置を含めた情報提供策の充実が必要である。 ・④県民カレッジの登録講座数について、R6年度の大きな減少は、ある団体が登録を行わなかったことによるもので、次年度以降の再登録を働き掛けていく。 ・⑥施設の利用件数について、講義・研修室の稼働状況には課題があり、貸館としての機能を十分生かすための広報や工夫が必要である。										
【令和6年度:当該評価項目の全体評価】 《 ほぼ達成 》 ○達成状況等 【A(33.3 %) B(50.0 %) C(16.7 %)】 文化情報センターにあっては、外部が開催するイベント等を含め、県民のニーズに応える多彩かつ良質な文化事業を展開するとともに、広報・周知への取組をより積極的に行い、県民が文化活動に参加する機会を保障していくことが求められる。なお、県民カレッジに関しては、障害のある方や外国籍の方など、多様なニーズに応じた学習メニューを紹介できるよう、関係団体との連携・協同に取り組む必要がある。また、施設利用の現状に基づき、本センターの今後の在り方を再考する必要もある。										

参考

和歌山県立図書館(令和7年3月末現在)

項 目	＜参考＞ 過去3年間の状況			R6年度の状況	
	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値 (A)	R6年度 実績値 (C)	R5年度 実績値に 対する比率 (%) (C/A)
地域等への貢献状況の紹介 ※注)目標値は設定しない					
①新規登録者数	4,220	3,650	3,459	3,576	103.4%
(本館)	2,963	2,510	2,463	2,656	107.8%
(紀南)	1,257	1,140	996	920	92.4%
②コピー枚数(マイクロフィルム含む)	25,960	21,662	21,683	23,946	110.4%
(本館)	23,501	19,379	19,553	20,705	105.9%
(紀南)	2,459	2,283	2,130	3,241	152.2%
③購入資料冊数	17,307	16,177	15,852	14,572	91.9%
(本館)	13,055	11,526	11,399	10,230	89.7%
(紀南)	4,252	4,651	4,453	4,342	97.5%
④寄贈資料冊数	2,237	1,745	1,986	1,636	82.4%
(本館)	2,085	1,634	1,808	1,548	85.6%
(紀南)	152	111	178	88	49.4%
⑤施設見学等の人数	158	453	202	216	106.9%
(本館)	0	125	63	13	20.6%
(紀南)	158	328	139	203	146.0%
⑥職場体験(中学生)の人数	0	3	18	25	138.9%
(本館)	0	0	8	20	250.0%
(紀南)	0	3	10	5	50.0%
⑦インターンシップ(高校生)の人数	9	10	5	8	160.0%
(本館)	6	6	4	4	100.0%
(紀南)	3	4	1	4	400.0%
⑧インターンシップ(大学生)の人数	5	8	8	4	50.0%
(本館)	3	5	5	3	60.0%
(紀南)	2	3	3	1	33.3%
⑨社会体験(一般)の人数	0	0	0	1	—
(本館)	0	0	0	1	—
(紀南)	0	0	0	0	—
⑩1日図書館員(紀南図書館のみ)	7	8	6	7	116.7%
⑪映画会・講演会等(オープン型)の参加人数	620	1,153	1,188	1,679	141.3%